

江府町にあるキャンプ場

休暇村奥大山 鏡ヶ成キャンプ場(江府町御机) 大山のブナの森で自然を満喫

大山の麓、標高920mに位置する鏡ヶ成キャンプ場は、環境省により整備されたもので、ダイナミックなアクティビティの拠点として人気です。このキャンプ場を拠点に烏ヶ山、擬宝珠山、象山への登山に出掛けたり、ブナの森に生息する野鳥や昆虫、植物を観察したり、ホテルや満天の星を見たり、様々な目的を持つキャンパーが訪れます。中には、敢えて虫のいない晩秋に訪れ、秋の夜長を焚火とホットドリンクで一人楽しむ上級者もいるそうです。

最近増えているのが、女性一人で訪れるソロキャンプの方や女性だけのグループ。初心者でも手ぶらでキャンプを楽しめる、設置済 TENT・BBQ 食材付きのプランもあり、ゴミを持ち帰る必要もないなど、様々なキャンパーの利便性にも配慮されています。

また、教育旅行として鏡ヶ成キャンプ場を選ぶ学校も増えており、TENT の設置や野外料理を学び、大山の自然について知識を深める機会を提供する場にもなっています。

一人から団体まで、多様化するニーズに対応できる県内屈指のキャンプ場です。

〇休暇村奥大山 鏡ヶ成キャンプ場 江府町御机 709-1 電話:0859-75-2300

雄大な自然の中で、ブナやミズナラの原生林を心ゆくまで楽しめるキャンプ場!!



休暇村奥大山
キャンプ場担当 杉村さん



シャワールームを備えたキャンプセンター



予めテントが張られた
オートキャンプサイト



ブナの森へ続く自然学習道



各サイトから見える雄大な自然



炊事棟

ミターラオートキャンプ場

ミターラオートキャンプ場は、毛無山登山の拠点として便利なキャンプ場で、全てのサイトが電源を備えたオートキャンプサイトとなっています。現在は、尾之上原自治会の中尾さんが管理運営を行っています。中尾さんは近隣のほだ場で原木しいたけ栽培に取り組んでいることから、植菌体験や収穫体験とキャンプを組み合わせた体験型キャンプも実施。家族連れにも喜ばれています。

〇ミターラオートキャンプ場 江府町侯野 電話:080-9799-4340



江府町では、もともと民間や地元自治会の皆さんが、豊かな自然を活かしてキャンプ場の運営をされてきており、町もバックアップを行ってきました。

最近キャンプブームが訪れるとともに、江府町のキャンプ場も人気が増えています。江府町は豊かな森林、鳥の鳴き声、せせらぎの音など、リラックスできる自然に恵まれ、自然学習の取組も盛んです。キャンプ場に求める魅力は人それぞれ。キャンプ上級者で毛無山に登る方はミターラオートキャンプ場へ、奥大山のブナの原生林の地下250mから汲み上げた天然水を沸したお風呂に入りたい方は休暇村鏡ヶ成キャンプ場に、ぜひどうぞ!!

江府町 白石町長



日野郡のキャンプ場は、手ぶらキャンプ、星空観察、森林散策、生物の観察など、多様なニーズに対応し進化し続けています。

静寂の中で一人静かにデジタルデトックスや、冬の寒い中、焚火でホットドリンクを楽しむ、一日中何もしないでハンモックに揺られる、そのような楽しみ方をする人もいます。今後、ワーケーションなど、日野郡のキャンプ新時代は進んでいくことでしょう。



〇日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

日野町にあるキャンプ場

鶉の池公園キャンプ場(日野町下榎) 湖畔で四季折々の自然を楽しむ

鶉の池公園キャンプ場は、標高420メートルに位置し、周囲2.3kmの湖の畔にあります。

今年4月にリニューアルした管理棟には、シャワールームやトイレを完備。湖畔の自然を満喫できるサイクリング用自転車も備え、アクティビティも充実しています。

手ぶらでキャンプを楽しみたい方にも便利なテントなどのレンタルサービスや、上質なBBQを楽しむ方のためには、精肉店が鳥取和牛オレイン55をキャンプ場まで届けるサービスなど、幅広いニーズに応えています。

湖畔は、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉や山菜など、四季の移ろいが楽しみ、県内有数の野鳥の宝庫でもあります。また、車で少し走れば、まちなかの店舗で必要なものを購入できる手軽さも魅力です。



レンタサイクル



池を1周するサイクリングコースの入口



町内の間伐材を使った新

〇鶉の池公園キャンプ場 日野町下榎 1251-2 電話:070-2161-3315 (運営(株)スマイルキューブ)

リバーサイドひの キャンプサイト

日野川の畔に位置し、町民の皆さんに親しまれているリバーサイドひのに、キャンプサイトができました。

小さなお子様連れのファミリーなど、通常の宿泊施設の利便性を享受しながらキャンプ気分を味わいたい方にお薦めです。隣接のBBQハウスで、BBQもお手軽に楽しめます。

〇リバーサイドひの 日野町下榎 1183 電話:0859-77-0333



鶉の池公園キャンプ場は、昨年まで無料で開放していましたが、昨今のキャンプブームを受け、ノウハウのある民間の力を活用しアメニティーを充実させるなど、より魅力あるキャンプ場となりました。野鳥観察やキノコ狩りなどが楽しめる鶉の池を観光資源として上手く使い、黒坂や根町のまちなかや金持神社、国指定重要文化財である仏像を所蔵する長楽寺、アーチ型の数津橋などの名所を巡って、日野町の魅力を知っていただきたいと思っています。

キャンプの必需品である薪には日野町の間伐材が使われており、県内3つのキャンプ場で販売され、日野町の林業振興にも貢献しています。

日野町 埴田町長



TOTTORI CAMP とりキャン

鳥取県は、自然豊かな県内のキャンプ場の予約サイトを立ち上げました。初心者・ファミリーにお薦めのキャンプ場やコテージ・ログハウスのあるキャンプ場など、様々な目的に合わせて御予約いただけるようになりました。

「とりキャン」URL <https://tottori-camp.jp/>

各キャンプ場の新型コロナ対策

各キャンプ場は、新型コロナ感染症対策をとっています。ご利用の際は、十分ご注意ください。

- 〇定期的な消毒 〇密の防止
- 〇食事以外の時のマスク着用の呼びかけ
- 〇発熱等症状のある方については利用をお断り など

日野郡から始まるキャンプ新時代 ～アウトドアツーリズムの魅力～



新型コロナウイルスの世界的流行は、人々の働き方やレジャーの在り方を大きく変えました。日本においても働き方改革が進み、オフィスとは別の場所で、いつもの仕事をする“ワーケーション”を行う企業や個人が徐々に増えています。

また、レジャーも、観光名所や都会に出かけ、大勢が集まって食べたり飲んだりというスタイルから、人と人が密接しないアウトドアで自然を楽しむスタイルへと変化しています。密を避け、自然の中でサイクリングや星空観察などが注目を集めています。

中でも人気が高まっているのがキャンプです。“ソロキャン”と呼ばれる一人キャンプから、グループやファミリーまで、また、手ぶらで気軽に楽しみたい初心者から、冒険や不便を楽しみたい上級者まで、様々な好みに対応した多様なキャンプ場が登場し、誰でも楽しめるレジャーとして注目を集めています。

日野郡3町にもいるようなキャンプ場があり、自然が豊かな日野郡から、キャンプ新時代が始まっています。 ※ワーケーション:「ワーク(労働)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた新しいことば。

日南町にあるキャンプ場

初心者の方でも安心!

鳥取にちなんむらモクモクキャンプ場(日南町神戸上) 初心者やファミリー、女性の一人キャンプも楽々

森林のまじり日南町の中でも標高600メートルに位置するモクモクキャンプは、宿泊施設とログハウスを併設し、初心者やファミリーでも安心のキャンプ場です。デッキにテントとタープが予め張られ、焚火台もセットされたグランピングサイトは、キャンプの雰囲気は楽しみたいけれど、準備や片付けは苦手という方に大人気。手ぶらで行っても、自然を満喫できます。

木に吊り下げられたハンモックに寝転がって、鳥の囀りや風の音を聞きながら、一日中ゆったり読書を楽しんだり、夜は星空観察デッキで満天の星を観察したり、思い思いの過ごし方を楽しむ方が増えています。



キャンプ場の近くには
ログハウスもあります。



満天の星が観察できる星空デッキ

〇ふるさと日南邑 日南町神戸上 2962-1 電話:0859-83-1188



手ぶらでOKのグランピングサイト



持ってきたテントを張って楽しめる
フリーサイト

出立山キャンプ場

アドベンチャーを楽しみたい上級者の方向けのキャンプ場で、モモンガが生息する森の中にあります。携帯の電波も届かない自然の中で、ワイルドに過ごしたいソロキャンプの方に人気です。虫などの対策をしっかりと、自分の身は自分で守る充実感を味わいたい方にお勧めです。

〇日南町湯河 日南町農林課 電話:0859-82-1114



日南町には、この他、「ゆきんこ村 四季彩」にもキャンプ場があります。 〇日南町下阿尾緑478 電話:0859-87-0431

自然が豊かな日南町の主なキャンプ場としては、指定管理者制度をとっている日南邑と、直営の出立山キャンプ場があり、従来から自然教育のフィールドとして活用していただいています。最近では特にアウトドアブームとなっており、日南町では、それぞれのまちづくり協議会などがトレッキングなどのアウトドアイベントを開催し、町がバックアップを行ってきました。自然を活用したこれらの活動やキャンプ場などを盛り込んだ観光ビジョンを作成し、町のビジョンをお示しする予定です。これまでエコツーリズムに力を入れてきましたが、今後はさらに、キャンプを宿泊拠点とし、星、ホテル、オオサンショウウオなどの魅力的な資源を取り入れたフィールドワークをメニュー化していきたいと考えています。

日南町 中村町長

